

10月31日(木) 14:00-16:40

セッションチェアマン： 浦岡 行治(奈良先端科学技術大学院大学)・酒井 滋樹(日新イオン機器(株))

◆ **生成 AI が可能にする新しい DX：医療現場の事例**



奈良先端科学大学院大学
教授
荒牧 英治

[講演要旨]

今、医療現場が変わりつつあります。病院のカルテだけでなく、スマートフォンやスマートスピーカーといった新しいデバイス、ChatGPTなどの生成 AI など、10年前では考えられなかった膨大な情報が医療や健康目的で利用可能です。

これに伴い、AIの支援による医療の可能性も注目されています。電子カルテを用いた診断支援、AI画像診断、患者の発話や表情から抑うつ診断など多くの課題が研究され、一部、すでに実用化されています。

本講演では、AI技術の最新動向の可能性と危険性に触れ、議論を深める一助になればと思っています。

[講演者プロフィール]

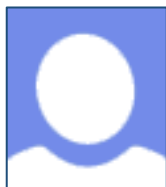
奈良先端科学技術大学院大学教授。

京都大学総合人間学部基礎科学科卒業。東京大学大学院情報理工系研究科博士課程修了。

博士（情報理工学）。

自然言語処理の医療応用に関する研究に従事。

◆ **メタバース市場拡大と最新のビジネス(仮題)**



クラスター株式会社
成田 暁彦

[講演要旨]

[講演者プロフィール]

◆ 電子デバイス業界における DX の進化とデータプラットフォームの役割(仮題)



AOS テクノロジーズ株式会社
代表取締役社長
佐々木 隆仁

[講演要旨]

[講演者プロフィール]

※本講演に興味を持たれた方は、こちらの講演もご覧になっています。

【B-2】次世代通信

【B-3】AI